

第十四回狂言やつとな会

ご挨拶

今回は2020年に上演する予定が新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出で、発売前に中止となってしまう新作狂言『鮎』を満を持して上演致します。『鮎』は国立能楽堂の委嘱の下、作家池澤夏樹先生が同名の短編小説を狂言台本に書き直し、萬齋先生が補綴、演出されて2017年に初演し、以来国内はもとより台湾でも上演された人気の作品。田舎で自然と共に暮らす男才助を萬齋先生、喧嘩をして山向こうから逃げてきた青年小吉を裕基さん、私はそのサクセスストーリーをユーモラスに作りあげてゆく鮎たちのボス、大鮎を演じます。万作先生には古典狂言『魚説法(うおぜっぽう)』の新発意(しんぱち)をお願い致しました。魚にまつわる楽しい演目を是非お楽しみ下さい。

番組

解説・ワークショップ

深田博治

小舞

鵜飼



深田博治

地謡

内藤 連
月崎晴夫
高野和憲
中村修一
飯田 豪

狂言

魚説法

新発意

野村万作

施主

岡 聡史

休憩

池澤夏樹II作
野村萬齋II演出補綴
国立能楽堂委嘱作品

新作狂言 鮎

才助
小吉
大鮎

野村萬齋
野村裕基
深田博治

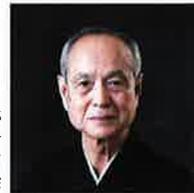
ご挨拶

深田博治

終了予定時刻 16時10分頃

小鮎 月崎晴夫
小鮎 高野和憲
小鮎 内藤 連
小鮎 中村修一
小鮎 飯田 豪
小鮎 山村友子
小鮎 大山容子
後見 岡 聡史
福田成生

平和市民公園能楽堂
令和8年5月24日(日)
14時開演(13時半開場)



野村万作



野村裕基



野村萬齋



深田博治

あらずじ

鯀 鯀 鯀

『魚説法(うおぜっぽう)』
親の追善の為に新しく建立した堂の供養を頼む為、この辺りの者が寺を訪れます。ところがあいにく住持は留守。お金に目がくらんだ新発意(見習いのお坊さん)が代わりに行くことになりましたが、実はお経を知りません。子供のころ浜辺に住んでいたため、知っている魚の名前を並べ立てて「まかそう」と考えるのですが...

『鮎(あゆ)』



清流手取川のほとりに住む才助は今日も川へ出て鮎を釣ります。この才助、不思議な力を持っていて、その人の顔を見るとその者の人柄や将来を見通せると言います。そこへどこから来たのか、泥まみれ血まみれの男がやって来ます。喧嘩をして山向こうから逃げてきたと言う男を、才助は小屋に連れ帰り、釣れたばかりの鮎を振る舞い、この地で暮らす事を勧める。しかし、小吉と名乗るこの男、町へ出て一旗揚げつつもりだと才助の言葉を聞きません。小吉は才助の紹介で金沢の大きな宿屋に職を得て、宿屋の主人へと上り詰めます。そんな噂を田舎で聞いていた才助はある頼み事を胸に久方ぶりに小吉のもとを訪れます。その頼み事を聞いた小吉は...

- チケット販売所・お問い合わせ
- 大分よからう会事務局 Tel: 090-9390-8229 (平日10時から17時まで、留守番電話へのご伝言でも承ります。)
- E-mail: yokaroukai2000@ezweb.ne.jp
- 大分合同新聞社営業部 Tel: 097-538-9642 (平日9時から17時まで)
- 平和市民公園能楽堂 Tel: 097-551-5511
- チケットぴあ (Pコード: 540821)
- 大分合同新聞プレスセンター、トキハ会館プレイガイド
- 振込先 郵便振替
- 00130-6-466806 大分よからう会
- 主催 大分よからう会/大分合同新聞社
- 協賛 春日神社/弁護士法人山本法律会計事務所(株)タツミ電業社
- 後援 大分県教育委員会/大分市教育委員会 NPO法人大分県芸振/銀座ハレマルウ
- 協力 国立能楽堂



チケット販売開始
令和8年3月17日(火)10時

- チケット料金
- S席 8,000円
- A席 7,000円
- B席 6,000円
- 学生席 .. 4,000円

平和市民公園能楽堂
〒870-0924 大分県大分市牧緑町1番30号
Tel: 097-551-5511

「鮎」の原作者 池澤夏樹氏 講演会
こんな時代だからこそ
世界を旅する作家の言葉を聞きたい
5月23日(土)午後1時/大分市平和市民公園能楽堂
入場料 1,000円/主催: 大分学研究会
問い合わせ: oitagaku@gmail.com
090-7454-9183 (佐々木)

表絵: 村上 健